



2019年12月12日

各 位

会 社 名 株式会社シャノン  
 代表者名 代表取締役社長 中村 健一郎  
 (コード：3976 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役 経営管理担当 友清 学  
 (TEL. 03-6743-1551)

**2019年10月期通期連結業績予想値、個別業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ**

2018年12月12日に公表いたしました2019年10月期(2018年11月1日～2019年10月31日)における通期連結業績予想値、個別業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

**1. 連結業績予想の修正**

(1) 2019年10月期(2018年11月1日～2019年10月31日)の連結業績予想と実績の差異

|                          | 売 上 高        | 営 業 利 益   | 経 常 利 益   | 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 | 1 株 当 たり<br>当 期 純 利 益 |
|--------------------------|--------------|-----------|-----------|---------------------|-----------------------|
| 前回発表予想 (A)               | 百万円<br>1,890 | 百万円<br>10 | 百万円<br>9  | 百万円<br>6            | 円 銭<br>4.32           |
| <b>実 績 値 ( B )</b>       | <b>1,855</b> | <b>36</b> | <b>26</b> | <b>24</b>           | <b>17.39</b>          |
| 増 減 額 ( B - A )          | △34          | 26        | 17        | 18                  | —                     |
| 増 減 率 ( % )              | △1.8         | 262.1     | 190.1     | 302.8               | —                     |
| (参考) 前期実績<br>(2018年10月期) | 1,803        | △31       | △30       | △31                 | △22.61                |

(2) 差異の理由

2019年10月期通期連結業績につきましては、売上高は概ね予想通りとなりました。また、マーケティングオートメーションサービスにおけるサブスクリプション売上が予想を上回ったことや、業務の効率化による人件費の抑制等が寄与して費用が予想を下回ったため、営業利益は予想値を上回る事となりました。これに伴い、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに予想値を上回る事となりました。

## 2. 個別業績予想の修正

(1) 2019年10月期(2018年11月1日~2019年10月31日)の個別業績予想と実績の差異

|                         | 売上高          | 経常利益      | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益  |
|-------------------------|--------------|-----------|-----------------|-------------|
| 前回発表予想(A)               | 百万円<br>1,890 | 百万円<br>15 | 百万円<br>12       | 円 銭<br>9.29 |
| 実績値(B)                  | 1,855        | 24        | 23              | 17.04       |
| 増減額(B-A)                | △34          | 9         | 11              | —           |
| 増減率(%)                  | △1.8         | 66.2      | 97.4            | —           |
| (参考)前期実績<br>(2018年10月期) | 1,803        | △23       | △23             | △17.24      |

### (2) 差異の理由

今回の修正としましては、連結業績予想の修正と同様の理由により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに予想値を上回ることとなりました。

以上